



令和3年10月1日

昭和初期の地域の風景を写真でお届けします

～釧路地方合同庁舎で「懐かシーニックパネル展」を開催～

「釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ」は、昭和初期の弟子屈や阿寒、釧路などの懐かしい風景や人々の暮らしを写真で振り返る「懐かシーニックパネル展」を下記のとおり開催します。

また、当パネル展では、シーニックバイウェイ「秀逸な道」に認定されたルート内の2区間「国道243号（美幌峠～屈斜路）」「中標津町道武佐北19号道路（中標津ミルクロード）」の紹介もします。

当パネル展では、昭和初期に弟子屈町川湯でバスの運転手を勤める傍ら、多くの風景写真を遺したアマチュアカメラマン 故・松葉末吉さんの作品から、弟子屈地域で撮影された写真を中心に選りすぐって展示します。

記

- 1 開催期間 令和3年10月4日（月）から10月15日（金）まで
- 2 開催場所 釧路地方合同庁舎 1階ロビー（釧路市幸町10丁目3番地）
- 3 内 容 別紙のとおり
- 4 主 催 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

※釧路開発建設部では、釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイの取組を支援しています。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部

道路計画課 課長 大江 祐一 電話：0154-24-7268（ダイヤルイン）

広報官 田中 邦彦 電話：0154-24-7354（ダイヤルイン）

釧路開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/ks/>



Photo R241 阿寒横断道路 松葉末吉

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 懐かシーニックパネル展

in 釧路地方合同庁舎

令和3年10月4日(月)～10月15日(金)

※土日を除く

懐かシーニックパネル展とは

平成17年末、一人の偉大な写真家と出会いました。

その名は松葉末吉(故人)、川湯でバスの運転手をする傍ら素晴らしい写真を沢山遺したアマチュアカメラマンです。

我々の仲間であるボランティアネットワークチャレンジ隊が釧路市においていち早く企画展を開催し、芸術性はもとより地域の歴史、生活を物語る貴重な資料としてその価値が再評価されました。

より多くの方に見ていただきたい。私たちの住む地域の未来を考える上でのヒントを得たいとの思いから、釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイでは、本パネル展を平成18年度から継続的に開催してきました。

今回のパネル展では、昭和初期に釧路・根室管内の道路整備に活躍した永山在兼とも絡めながら、同時代の写真を展示いたします。



松葉末吉(故人)が
愛用したカメラ

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

シーニックバイウェイとは、地域に暮らす人が主体となり、企業や行政と手をつなぎ、个性的で活力ある地域づくり、美しい景観づくり、魅力ある観光空間づくりを目指す取り組みです。平成17年よりスタート、現在13のシーニックバイウェイ指定ルート、3つの候補ルートがあり、約460団体が活動しています。

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイは、「神秘的で優れた自然のあり様を五感で感じるダイナミックルート」をテーマに、釧路湿原・阿寒湖・弟子屈・中標津の4つのエリアの地域住民が中心となり、沿道の清掃活動や植樹活動、地域を再発見するイベントや、周遊観光の促進を目的としたスタンプラリー開催など、多岐に渡って活動を進めています。